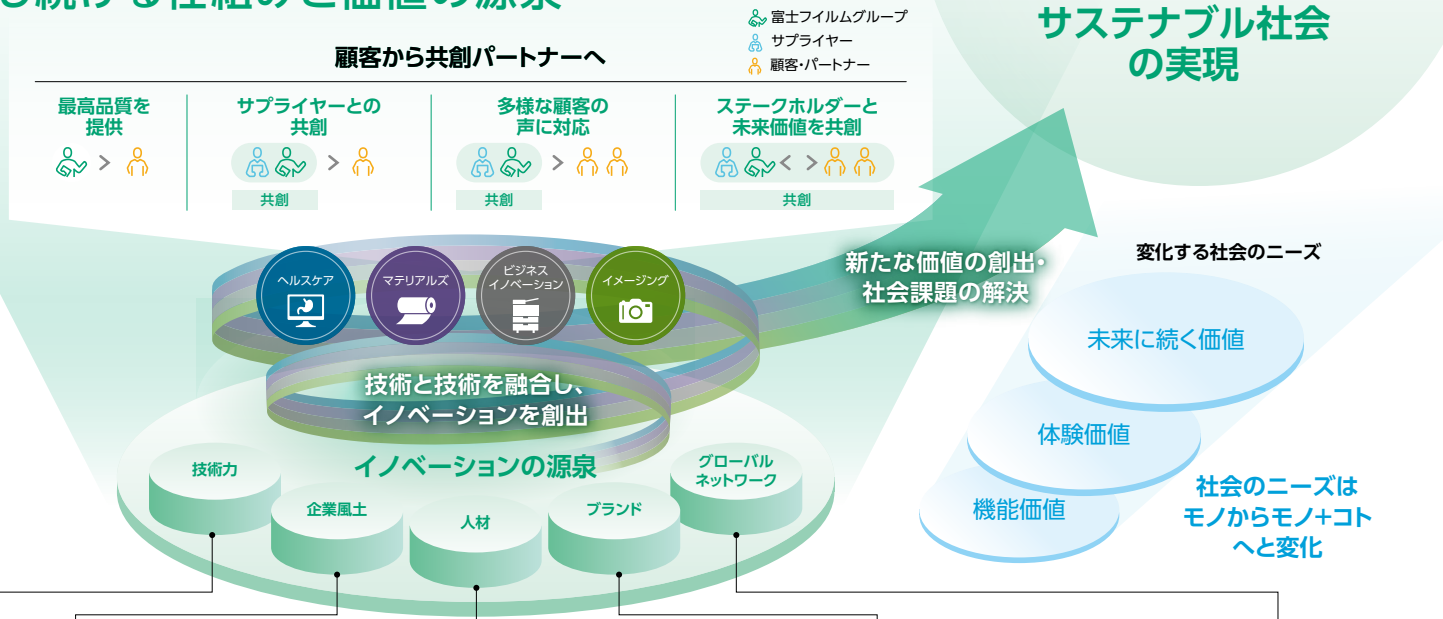


イノベーションを生み出し続ける仕組みと価値の源泉

富士フィルムグループは、常にイノベーションを生み出し続けることで、時代によって変化する社会のニーズに合致した最高品質の製品・サービスを提供してきました。

また、現在のニーズだけではなく、潜在的なニーズも掘り起こしながら、サプライヤーやパートナーを含むステークホルダーと未来に続く価値を共創しています。



技術力

基盤技術の蓄積

多種多様な先進・独自の技術の集積で成り立つ写真分野において、世界トップレベルの技術力を培い、各事業を支える基盤技術を蓄積しています。

コア技術の研鑽

基盤技術をもとに、持続的な競争優位性を築くためのコア技術を磨いています。

複合的な技術の融合

基盤技術とコア技術を組み合わせることで、さまざまな革新的な製品・サービスを提供しています。

- ▶ P14 イノベーションの進化
- ▶ P16 富士フィルムグループの独自技術
- ▶ P45 研究開発戦略
- ▶ P50 知的財産戦略

企業風土

「オープン、フェア、クリア」な企業風土

「オープン、フェア、クリア」な企業風土の下、勇気ある挑戦により、新たな価値を創造することで、社会から信頼され、必要とされる企業であり続けることを目指しています。「オープン、フェア、クリア」は富士フィルムグループのすべての活動のベースとなる考え方であり、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にとつて欠かせない要素です。

- ▶ P05 富士フィルムグループが大切にすること
- ▶ P56 人材戦略
- ▶ P75 多様性・働きがい・労働安全性

人材

変化を成長のチャンスと捉える人材育成

変化を成長のチャンスと捉えて、挑戦し、日々変化を作り出す人材の育成に注力しています。

高い従業員エンゲージメント

多様な人材が能力を最大限に発揮できる、従業員エンゲージメントの高い組織づくりを推進。従業員一人ひとりが、富士フィルムグループの成長を支えています。

- ▶ P56 人材戦略
- ▶ P75 多様性・働きがい・労働安全性

ブランド

革新的な製品・サービスを提供し続けることで培われたブランド

写真分野で培った先進・独自の技術を進化させながら、革新的な製品・サービスを提供し、社会課題に真正面から向き合うことで富士フィルムブランドを培ってきました。富士フィルムブランドの価値を向上させ、世界における高い認知度につながっています。

- ▶ P13 イノベーションの進化
- ▶ P62 特集：ステークホルダーとの価値共創

グローバルネットワーク

創業期からの積極的な海外展開

当社は、創業から4年後の1938年に輸出を開始。1958年には販売会社をブラジルに設立し、以降、積極的に海外展開を進め、グローバル企業として成長しました。

地域統括会社との連携によって経営管理機能を強化

地域統括会社を設置し、意思決定の迅速化や経営管理機能を強化し、研究開発・生産・マーケティング・販売など、各国・地域でのタイムリーな情報収集や現地に適応した戦略立案、現地企業との連携を可能にしています。

- ▶ P23 事業の全体像
- ▶ P62 ステークホルダーとの価値共創